

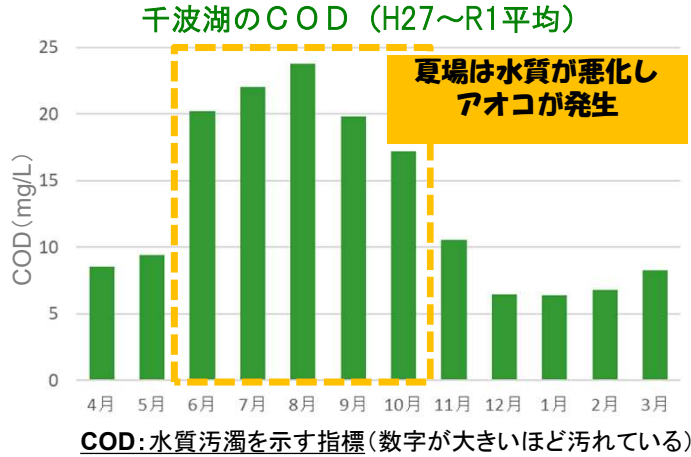
那珂川清浄水の導水による千波湖の水質改善

—水辺環境改善による偕楽園・千波公園の観光拠点としての魅力向上—

■ 背景

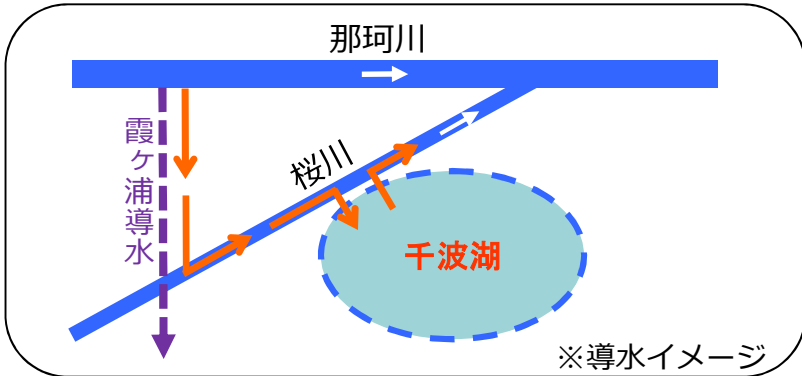
千波湖は、生活排水の流入等により昭和50年代頃から水質悪化が進行し、農業用水路を活用した導水によりアオコ発生抑制を図ってきたものの、かんがい利用による水量の制限により導水量が不安定な状況にあることなどから、夏場を中心にアオコが発生するなど水質改善が大きな課題。

夏場におけるアオコ



水面景観の悪化
 悪臭の発生
 ↓
 親水性が損なわれ、水辺環境や観光拠点としての魅力が低下

■ 千波湖導水事業について



県と水戸市は共同で千波湖導水事業に取り組んでおり、霞ヶ浦導水事業により那珂川から桜川へ送られた水を、桜川から取り込み千波湖へ送水する導水管等の整備を実施。

この千波湖導水事業の完成により、千波湖へ最大で毎秒3トンを送水することが可能となり、千波湖の水の入れ替えが促進され水質の大幅な改善が期待される。

■ 事業による効果 (R4試験通水の結果)

【R4試験通水】 通水期間: 8月16日(火)~8月26日(金) 11日間 24時間連続通水
 9月 5日(月)~9月16日(金) 12日間 9時間(7-16時)通水

環境基準では、COD 8.0mg/L以下が日常生活において不快感を生じない値としている

